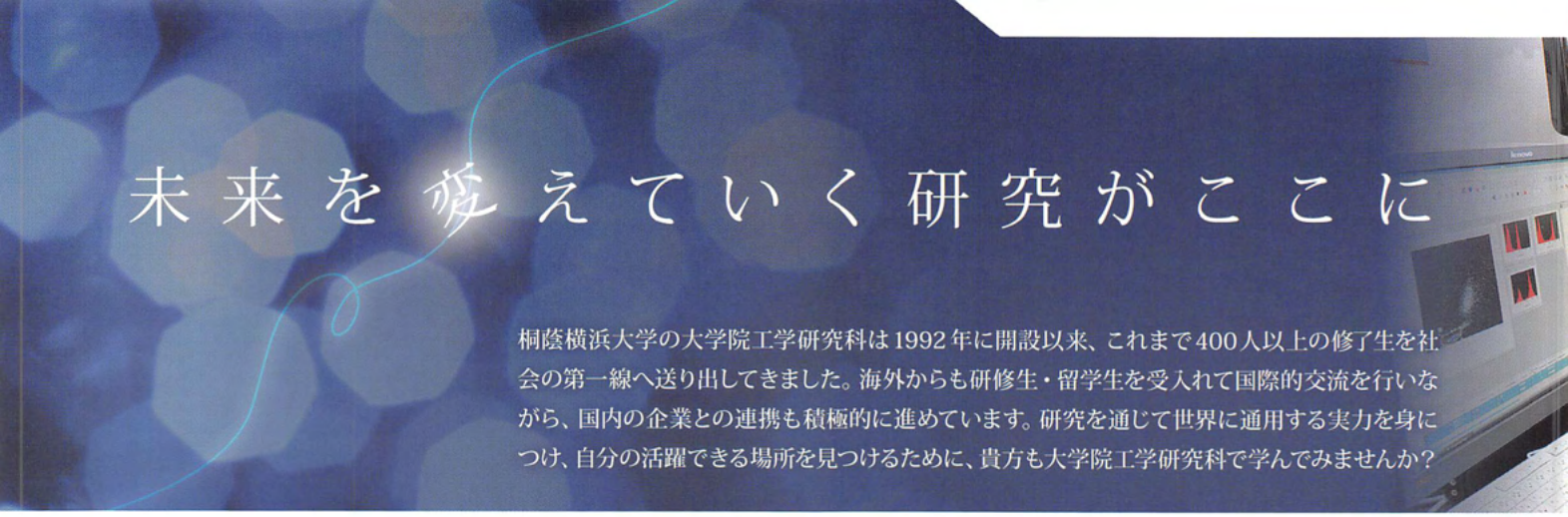
A place where
research will
change
your future.

桐蔭横浜大学
大学院工学研究科

Toin University of Yokohama
Graduate School of Engineering

大学院研究室ガイド 2025

未来を変えていく研究がここに



桐蔭横浜大学の大学院工学研究科は1992年に開設以来、これまで400人以上の修了生を社会の第一線へ送り出してきました。海外からも研修生・留学生を受入れて国際的交流を行いながら、国内の企業との連携も積極的に進めています。研究を通じて世界に通用する実力を身につけ、自分の活躍できる場所を見つけるために、貴方も大学院工学研究科で学んでみませんか？

概　要

専攻名称	医用工学専攻（修士課程、博士後期課程）
学　　位	修士（工学）、博士（工学）
修業年限	修士 2年、 博士 3年
入学定員	修士14名、 博士 6名
収容定員	修士28名、 博士18名

特　徴

工学に関する専門領域の知識を身につけ、研究並びに実験を通じて新規の理論と技術を提案し、国際的な研究活動にも対応できる能力を有する研究者を養成する。

工学研究科 3つのポリシー

1 アドミッションポリシー Admission policy

入学者受入の基本方針……求める人材像

人間の身体の構造、機能さらには疾患に関する知見を踏まえたうえで工学領域からの最先端医療への貢献に関心のある人材（修士）。
国際的に評価される高度な研究に自立的に取り組む意欲のある人材（博士）。

2 カリキュラムポリシー Curriculum policy

教育課程編成・実施の基本方針……専門教育

工学全般の基礎となる数理的基礎科目の知識を、実習・演習を通じて確かなものとし、専門分野や周辺の分野の基礎知識と技能を学び、新しい課題に活用できる能力を身につけるカリキュラムを提供（修士）。
高度に専門的な課題達成に必要となる最先端の知識と技能を身につけるカリキュラムを提供（博士）。

3 ディプロマポリシー Diploma Policy

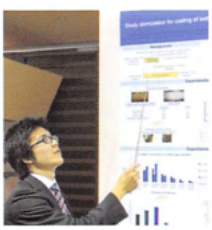
学位授与の基本方針

工学に関する専門領域の知識を身に付け、研究並びに実験を通じて新規の理論と技術を提案し、国際的な研究発表活動にも対応できる研究者・技術者を養成し、学位を授与する（修士）。
工学の専門領域の研究ならびに実験に精通しながら独自の理論と技術を構築し、関連の分野に高度な知識を有し、国際的、学際的な研究活動を推進する力を持つ研究者・技術者を養成し、学位を授与する（博士）。

修士課程修了までのスケジュール（例）

修士１年次	11月	桐蔭ＢＭＥ国際シンポジウム　ポスター発表
修士２年次	11月	桐蔭ＢＭＥ国際シンポジウム　口頭発表
	11月	修士論文予備審査
	2月	修士論文発表会

BME：Biomedical Engineering



桐蔭BME国際シンポジウム

工学研究科では毎年、全国の大学と海外から医用工学の分野に関わりのある研究者を招聘し、大学院学生も参加する国際学会を主催しています。口頭とポスター発表によって国際会議に参加する最も近いチャンスがここにあります。

海外研修制度

研究活動に必要な英語の交流を深めるための短期語学研修として、米国ロサンゼルスのウエスト大学における夏期研修にも大学院生は参加するチャンスがあります。

学　費

事項	修士１年	修士２年	博士後期１年	博士後期２年以降
学費合計（一般学生）	1,330,000円	1,100,000円	1,344,500円	1,110,000円
学費合計（本学学部出身者）	1,035,000円	1,020,000円	889,500円	870,000円

備考）本学学部出身者の場合は、入学金・同窓会入会金および同窓会費が免除されるほか、施設設備費が減額されます。また、前期分、後期分といった形での分割払いも可能です。

※上記は予定であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合、改定時から新納入額が適用されます。

入試日程

出願区分	出願期間	試験日	試験科目	合格発表
修士課程				
一般募集（１次）	6月19日(水)～6月28日(金)	7月6日（土）	筆記(専門科目・英語)、口述	7月13日(土)
一般募集（２次）	1月29日(水)～2月7日(金)	2月14日（金）	筆記(専門科目・英語)、口述	2月21日(金)
AO募集	2月19日(水)～2月28日(金)	3月7日（金）	口述	3月14日(金)
博士課程				
一般募集（1次）	1月29日(水)～2月7日(金)	2月14日（金）	筆記(専門科目・英語)、口述	2月21日(金)
一般募集（2次）	2月19日(水)～2月28日(金)	3月7日（金）	筆記(専門科目・英語)、口述	3月14日(金)

大学院担当教員とその研究内容

大学院担当教員		研究内容
医用工学分野		
教授　工博	杉本　恒美	非破壊計測、音波・超音波を用いたアコースティック・イメージング、生体計測
教授　医博・工博	佐藤　敏夫	医用計測工学、医療機器工学
教授　工博	徳岡　由一	バイオインターフェイス、ドラッグデリバリ、フォトメディカル
教授　工博	米坂　知昭	超音波診断学、医療経営学
准教授　医博	南　順子	人体病理学、実験病理学、医療管理学
准教授　医博	清水　智美	臨床生理学、スポーツ・健康科学
准教授　工博	山内　忍	臨床工学、生体機能代行装置学
准教授　工博	大沼 健太郎	医用電子工学、医用システム、人工臓器
准教授　薬博	澤口　能一	薬剤学、免疫学、医用工学
遺伝子工学分野		
教授　理博	萩原　啓実	バイオテクノロジー、生化学
教授　理博	小寺　洋	生化学、生体物質
教授　理博	吉田　薫	生化学、細胞生物学、生殖生物学
准教授　医博	大辻　希樹	分子病理学
准教授　工博	蓮沼　裕也	臨床微生物学、感染症学、細菌学、感染制御学
生体機能分子工学分野		
特任教授　工博	宮坂　力	バイオエレクトロニクス、光電気化学
教授　理博	佐野　元昭	植物計測学、音響工学、画像処理工学
教授　工博	森下　武志	医用システム学
教授　理博	池上　和志	有機光化学、光電気化学
准教授　理博	太田　英輔	有機化学、色素化学

参考：本学における工学系の科研費の採択状況

採択年度	科研費種別	代表研究者	所属	研究題目
2019-2023	基盤研究 (S)	宮坂　力	医用工学部	無鉛型高次元ハライドペロブスカイト材料による太陽電池の高効率・高耐久化
2023-2025	基盤研究 (C)	杉本　和子	医用工学部	音波加振による SSE 解析を用いた欠陥検出のための振動理論に関する検討
2023-2025	基盤研究 (C)	奥井　理予	先端医用工学センター	PARP 阻害剤併用療法の新規治療ターゲット同定と作用機序の解明
2023-2025	基盤研究 (C)	吉田　薫	医用工学部	精子受精能獲得における精嚢分泌タンパク質のアミロイドーシス様作用による制御機構
2023-2025	基盤研究 (C)	澤口　能一	医用工学部	超音波を用いた脳梗塞の再発予防法確立のための基礎的検討
2022-2024	基盤研究 (C)	石河　睦生	医用工学部	３D 形状圧電結晶膜を用いた高周波強力超音波トランスデューサーの開発と医療応用
2022-2023	基盤研究 (C)	高木　均	工学研究科	深層学習によるコロトコフ音波形の極座標表示を用いた健康指標値に関する検討
2021-2024	基盤研究 (C)	白川　貴志	工学研究科	深層学習による葉の振動波形を用いた植物の灌水制御に関する検討
2021-2023	基盤研究 (C)	大沼 健太郎	医用工学	生物的制御機構による体外設置型連続流補助人工心臓の安全性・有効性向上の実現
2021-2023	基盤研究 (C)	徳岡　由一	医用工学	黄色ブドウ球菌に対する光線力学的不活化のための内在性光増感性物質の解明
2019-2023	基盤研究 (C)	杉本　和子	工学研究科	空間スペクトルエントロピーと健全部評価による非接触音響探査法の欠陥検出の検討
2022-2024	若手研究	蓮沼　裕也	工学研究科	動物および食品由来薬剤耐性菌における臨床への拡散経路の解明
2021-2024	若手研究	川井　重弥	工学研究科	音波照射加振を用いた軟性容器内容物の非接触粘度計測に関する研究
2020-2024	若手研究	上地　樹	工学研究科	音源搭載型 UAV からの音波照射加振による欠陥探査法に関する検討

科学研究費助成事業（通称「科研費」）とは…
大学等の研究者の行う科学研究を国が支援するための補助金事業で、自然科学から人文・社会科学まで、すべての分野の科学研究を支える根幹的な制度です。したがって、科研費を得ている研究は国が援助している研究とも言え、研究者の研究レベルの高さを示す指標ともいえます。本学所属の研究者がどのような研究で科研費を得ているのかは、研究室選びの参考になるでしょう。

担当教員

杉本　恒美

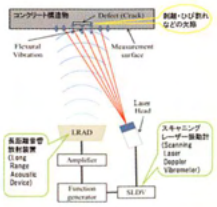
医用工学分野

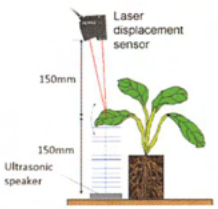
研究テーマ

非破壊検査・アコースティック・イメージング

1．音波照射加振を用いた安全診断に関する研究開発
（非接触音響探査法：土木構造物，外壁，各種容器他）
2．音波振動を用いた植物の健康診断に関する研究
3．コロトコフ音解析による健康指標値に関する研究

音源搭載型ドローン





■ 利用できる装置・設備

・スキャニングレーザドップラ振動計（Polytec 社製 PSV400-H4）
・長距離音響発生装置（LRAD 社製 LRAD-300X）
・レーザ変位計（キーエンス社製 LK-G150）
・マルチチャンネルデータステーション（小野測器社製 DS-3000）

■ 所属学会・研究会

日本音響学会、日本超音波医学会、日本生体医工学会、日本非破壊検査協会、物理探査学会、土木学会、日本コンクリート工学会、電子情報通信学会、IEEE UFFC

■ 連携・協力する企業

佐藤工業㈱技術センター、富士フイルム㈱先端コア技術研究所、三菱重工業㈱総合研究所、ポリテックジャパン㈱

Homepage: http://www.cc.toin.ac.jp/sc/sugimoto/

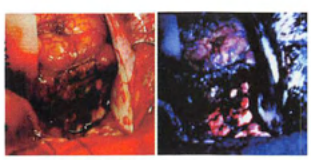
担当教員

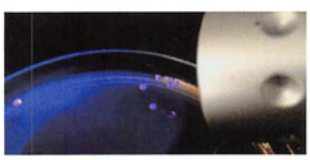
徳岡　由一

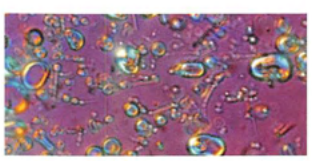
医用工学分野

研究テーマ

1．光線力学的診断および療法に関する研究
2．経皮的薬物送達システムに関する研究
3．生体材料に関する界面化学的研究


脳腫瘍に対する光線力学的診断


P.acnes に対する光線力学的治療


薬物内包リポソームの偏光顕微鏡画像

■ 利用できる装置・設備

・各種分光光度計（紫外-可視分光光度計、フーリエ変換赤外分光光度計、蛍光分光光度計）
・クロマトグラフィー（高速液体クロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー）
・物性変化・分子間相互作用定量 QCM 装置

■ 所属学会・研究会

日本油化学会、材料技術研究協会、日本光線力学学会、日本光医学・光生物学会、日本バイオマテリアル学会、色材協会、ポルフィリン-ALA 学会

担当教員

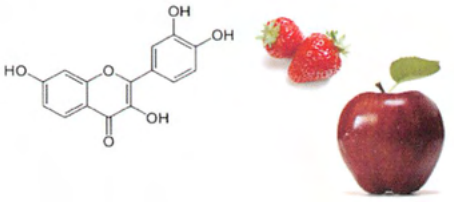
米坂　知昭

医用工学分野

研究テーマ

1．超音波診断装置を用いた甲状腺・頸動脈エコーのコホート研究
2．周産期医療における地域医療計画と実態の調査研究
3．フィセチンの脂質代謝と糖代謝に及ぼす効果に関する研究

Fisetin



It contains 160 mg/kg in strawberries and 27 mg/kg in apples

4．筋細胞の分化におけるフィセチンの影響に関する研究

■ 利用できる装置・設備　超音波診断装置（LOGIQ P5/GE ヘルスケア社製）

■ 所属学会・研究会　日本臨床衛生検査技師会・神奈川県臨床衛生検査技師会・日本薬理学会・分子生物学会・日本医療機器学会・ワンヘルスサイエンス学会

担当教員

清水　智美

医用工学分野

研究テーマ

1．自律神経機能、嗅覚や味覚、生体のストレス応答（酸化ストレス・抗酸化力）
2．アルコールに対する「体質」、腸内細菌叢、血中脂肪酸の割合に関する研究

■ 利用できる装置・設備　自律神経機能検査きりつ名人（株式会社クロスウェル）
フリーラジカル解析装置 FREE Carrio DUO（株式会社ウィスマー）
FreeStyle リブレ（Abbot）
心電計、超音波検査装置、脳波計、筋電計、血圧脈波検査装置、他

■ 所属学会・研究会　日本臨床衛生検査技師会、日本体力医学会、日本臨床検査医学会、日本臨床スポーツ医学会、日本栄養・食糧学会、日本臨床検査学教育協議会

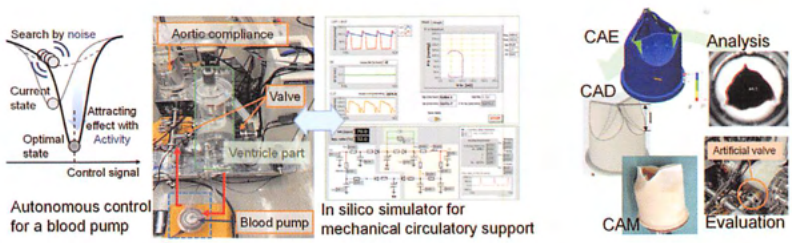
担当教員

大沼　健太郎

医用工学分野

研究テーマ

1．確率的手法による自律的血液ポンプ制御に関する研究
2．循環器系シミュレータに関する研究開発（実機 / in silico）
3．CAD/CAE/CAMによる人工弁設計の最適化に関する研究
4．外部刺激のテンポに対する心拍引き込み現象の同定と解析



循環器系治療機器および周辺技術に関する研究開発

■ 利用できる装置・設備

補助人工心臓耐久試験 / 循環系シミュレータ装置、オーバーフロー式模擬循環試験装置、超音波流量計、圧力センサ、高速気体量センサ、ワイヤレス生体センサ、高速度カメラ、多チャンネルデータ収録解析システムPowerLab、多機能I/Oデバイス、3D CAD、三次元造形機（共用）、レオメータ、各種電気計測機器、プログラム開発環境

■ 所属学会・研究会

日本人工臓器学会、ライフサポート学会、日本生体医工学会、計測自動制御学会、IEEE EMBS

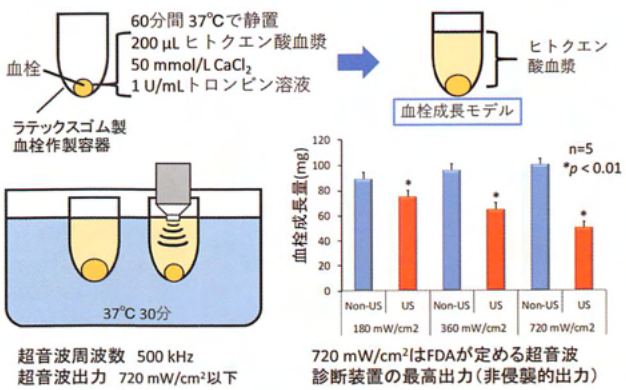
担当教員

澤口　能一

医用工学分野

研究テーマ

1．超音波による心筋梗塞、脳梗塞（血管閉塞性疾患）の予防法の開発
2．超音波による人工心肺装置に発生する血栓の抑制法開発
3．非視覚組織（皮膚）への光線曝露が調節する神経ペプチドの活性化機構の解明



超音波周波数　500 kHz
超音波出力　720 mW/cm²以下

720 mW/cm²はFDAが定める超音波診断装置の最高出力（非侵襲的出力）

■ 利用できる装置・設備

水中音響強度測定装置（ＡＩＭＳ）、シュリーレン装置、超音波パワーメーター、脱気装置、クリオスタット、ウエスタンブロッティング関連機器装置一式、蛍光顕微鏡、紫外可視分光光度計、動物実験施設および手術・麻酔機器

■ 所属学会・研究会

日本薬学会、日本脳神経超音波学会、日本栓子検出と治療学会

担当教員

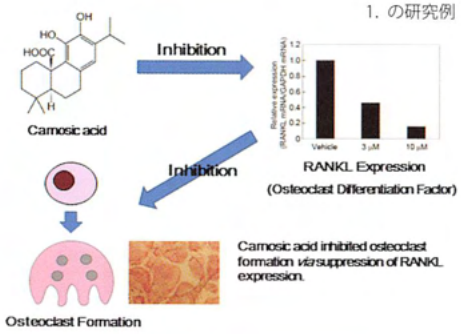
萩原　啓実

遺伝子工学分野

研究テーマ

1．ポリフェノールの骨代謝・脂肪代謝に及ぼす影響
2．ポリフェノールの癌細胞の増殖・転移に及ぼす影響
3．Zfp318遺伝子欠損マウスの表現型の解析（精子形成について）

1．の研究例



■ 提供・協力できること

研究テーマにかかわる実験（細胞培養・動物（マウス）実験・遺伝子解析など）の協力や顧問指導等ができる。
所有機器：リアルタイムＰＣＲ装置(LightCycler 480 System II：Roche)、
ＣＴスキャン装置(ＬＡ Ｔｈｅａｔａ ＬＣＴ－１００：Ａｌｏｋａ)

■ 所属学会・研究会

アメリカ骨代謝学会、日本生化学会、日本分子生物学会、日本骨代謝学会、日本心血管内分泌代謝学会（評議員）、日本血管生物医学会（評議員）、日本動物細胞工学会

■ 連携する産業等・共同研究先

連携する産業：健康・医療・生化学
共同研究先：筑波大学、東京理科大学、中部大学、㈱ネモト・サイエンス、清水建設㈱

Homepage: http://www.cc.toin.ac.jp/sc/hagiwara/

担当教員

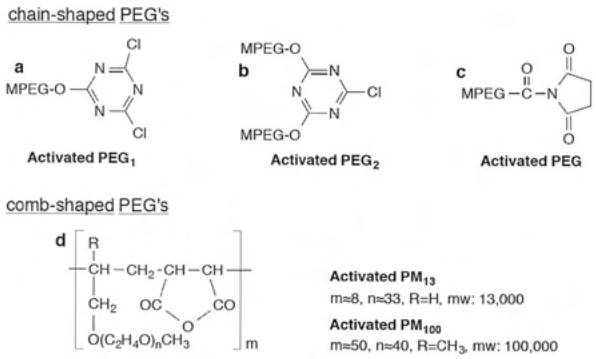
小寺　　洋

遺伝子工学分野

研究テーマ

酵素タンパク質の化学修飾

1．ポリエチレングリコール誘導体の合成
2．化学修飾タンパク質の体内動態制御
3．極限環境下での酵素反応



■ 利用できる装置・設備

・分光光度計
・高速液体クロマトグラフ

■ 所属学会・研究会

日本生化学会

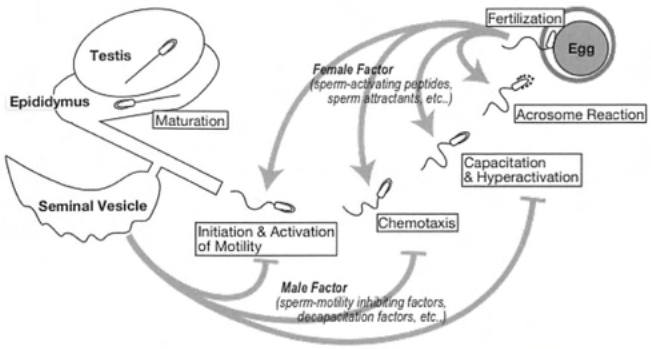
担当教員

吉田　薫

遺伝子工学分野

研究テーマ

1．受精に関する生物学的研究
2．男性不妊症に関わる臨床研究



■ 利用できる装置・設備
・アクリルアミドゲル電気泳動　・ブロッティング装置、電源
・化学発光スキャナ　・サーマルサイクラー　・マイクロインジェクション装置

■ 所属学会・研究会
動物学会、分子生物学会、発生生物学会、生殖医学会、アンドロロジー学会、受精着床学会、医療検査学会

■ 連携する産業等
東京大学大学院理学系研究科、明治大学農学部、横浜市立大学附属市民総合医療センター、株式会社ダンテ

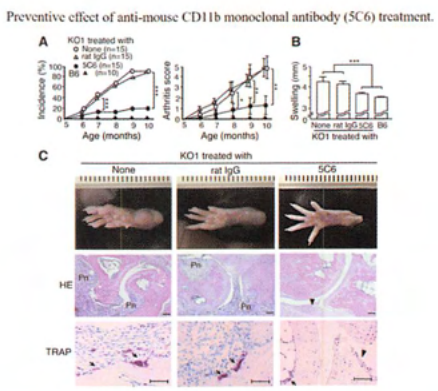
担当教員

大辻　希樹

遺伝子工学分野

研究テーマ

1．全身性エリテマトーデス（SLE）発症メカニズムに関する研究
2．関節リウマチ（RA）の新規治療法に関する研究



■ 利用できる装置・設備
Flow Cytometer(Gallios)、Thermal cycler、Microplate Reader、NanoDrop、細胞培養関連装置、病理標本作成機材一式

■ 所属学会・研究会
アメリカ免疫学会、日本免疫学会、日本病理学会、日本リウマチ学会、日本サイトメトリー学会、病理技術研究会、日本臨床衛生検査技師会、東京都臨床検査技師会

■ 連携する産業等
順天堂大学、神奈川県立保健福祉大学、武蔵丘短期大学、理化学研究所

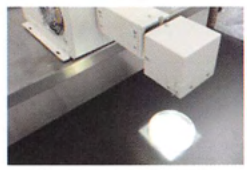
担当教員

蓮沼　裕也

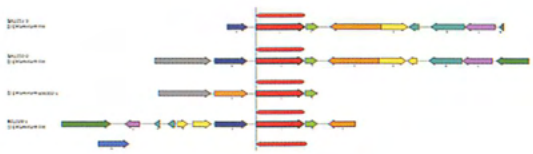
遺伝子工学分野

研究テーマ

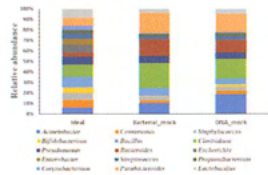
1．薬剤耐性グラム陰性細菌の疫学研究
2．薬剤耐性菌に対する光線力学不活化（PDI）のメカニズム解明
3．新規感染症診断検査法の開発
4．腸内細菌叢が自己免疫疾患に与える影響の解明



白色LEDによる細菌不活化



薬剤耐性遺伝子の周辺構造比較解析



菌叢解析による菌属の存在比

■ 利用できる装置・設備

・パルスフィールドゲル電気泳動装置 CHEF-DRII システム（BioRad）
・ミクロプランター MIT-27P（佐久間製作所）
・BioAnalyzer Agilent 2100（Agilent）
・次世代シークエンサー Ion S5 GeneStudio（Thermo Fisher Scientific）

■ 所属学会・研究会

日本臨床検査技師会、日本臨床微生物学会、日本化学療法学会、日本細菌学会、日本医療検査科学会、日本腸内細菌学会、迅速微生物診断感染症研究会、動物用抗菌剤研究会、耐性菌研究会

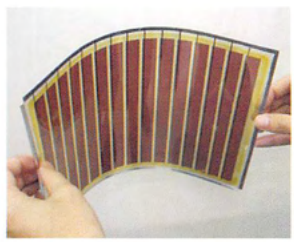
担当教員

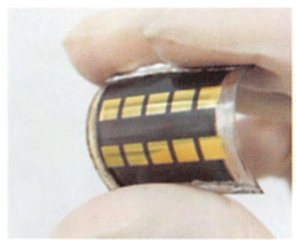
宮坂　　力

生体機能分子工学分野

研究テーマ

1．有機無機ペロブスカイト太陽電池の高効率化開発
2．フレキシブルなプラスチックフィルム光発電素子の開発
3．医用X線検出器の開発





■ 利用できる装置・設備

人工太陽光源（ソーラーシミレータ）、光量測定装置、環境加速試験機、各種の塗布器（ドクターブレ式、スピンコーター、スクリーンプリンターなど）、グローブボックス、恒温恒湿室、焼成炉、各種の電気化学測定装置（ポテンシオ・ガルバノスタット等）、インピーダンスアナライザー、東京大学の桐蔭横浜大学分室（東大駒場リサーチキャンパス）：クリーンルーム、真空蒸着装置、ナノテクノロジー関連成膜装置

■ 所属学会・研究会

日本化学会、電気化学会、光化学協会、材料科学会（MRS）、アメリカ電気化学会（ECS）、ほか

■ 連連携する大学・研究機関・企業等

公的機関：経済産業省（NEDOプロジェクト）、文部科学省（JSTプロジェクト）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）
大学間の連携：東京大学、上智大学、兵庫県立大学、東洋大学、埼玉大学、吉林大学（中国）、ほか
企業との連携：ペクセル・テクノロジーズ㈱（取締役を兼務）、京セラ、昭和電工、帝人、日産化学、ほか

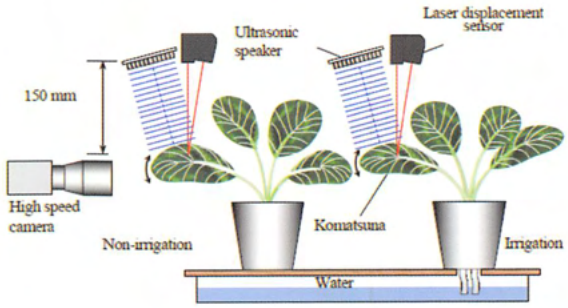
Homepage URL：http://www.cc.toin.ac.jp/sc/miyasaka/

担当教員

佐野　元昭

研究テーマ

1．葉の固有振動を用いた植物の水ストレス推定の研究
2．上腕圧迫時に得られる脈波振動による血管年齢推定の研究
3．非接触呼吸数モニタの研究
4．体内発電に関する研究



■ 利用できる装置・設備

・ハイパースペクトルカメラ（エバ・ジャパン㈱、HSC1701）
・ハイスピードカメラ（㈱ディテクト、HAS-L1M）
・デジタルマイクロスコープ（㈱朝日光学機製作所、MS-200）
・グロースチャンバ（㈱日本医化器械製作所、KCLP-1400LED-NCS）
・LCR メータ（日置電機㈱、IM3523）

■ 所属学会・研究会

日本物理学会、応用物理学会、電気学会、日本音響学会、日本生物環境工学会

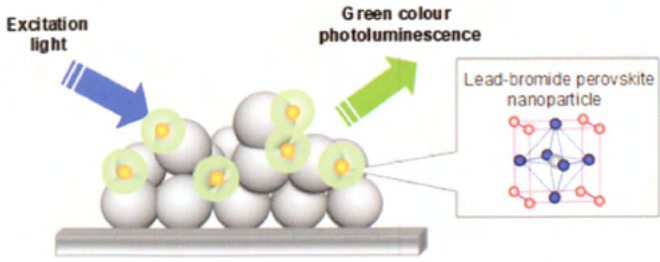
Homepage URL: http://www.cc.toin.ac.jp/sc/sano-lab/

担当教員

池上　和志

研究テーマ

1．酸化チタン半導体膜の低温成膜法の開発とその応用
2．有機無機ハイブリッドペロブスカイト化合物を用いた光電変換素子、X線検出素子の開発



■ 利用できる装置・設備

疑似太陽光源、分光感度測定装置、粘度計、膜厚測定器、真空蒸着装置、スピンコーター、紫外可視吸収スペクトル測定装置、インピーダンスアナライザ、ポテンシオガルバノスタット、ソースメータ、分光放射計、恒温恒湿層、太陽電池の発電効率面分布測定装置

■ 所属学会・研究会

日本化学会、日本光医学・光生物学会、電気化学会、光化学協会、アメリカ電気化学会

■ 連携する産業等

神奈川県立産業技術研究所、分光計器株式会社、国内太陽電池関連企業

Homepage URL: http://www.cc.toin.ac.jp/sc/miyasaka/

修了生の声

国際的に活躍できる人材に

企業就職者
金沢　浩平 さん
（栄研化学）

本学の工学研究科は、幅広い領域の教員陣で構成されており、研究室の垣根を越えて、親身に指導していただける環境が整っています。講義は自分の学びたい科目を選択でき、大学時代の知識をベースに、より高度な専門知識を身につけることができます。少人数での講義が多いため、学生と教員のコミュニケーションが取りやすく、より濃密な時間を過ごすことができます。また、本学は国際的に活躍できる人材の育成に重点を置いており、毎年、桐蔭医用工学国際シンポジウムを開催しています。口頭発表やポスター発表を通じて国内外の研究者たちと情報交換や交流ができる場であり、貴重な経験を積むことができます。

大学院での研究活動は未知なる課題を追究していくため、物事に対する探究心や主体性が自然と身についていきます。さらには、学会発表や共同研究等を通じて、様々な人の意見や考えを聞くことで視野が広がり、人間としても大きく成長できると思います。自分の可能性を最大限に広げるためにも大学院進学を考えてみてはいかがでしょうか。

大学院工学研究科の魅力

病院就職者
植村　友樹 さん
（東海大学）

私は修士課程修了後、臨床工学技士として大学病院に勤務しています。大学に入学した頃は学部を4年間で卒業し、そのまま病院に就職しようと考えていました。しかし、学部3年生になり研究室を見学した際に、研究の難しさや楽しさに触れて、もっと研究を続けたいと思うようになりました。

桐蔭横浜大学大学院工学研究科の一番の魅力は担当の先生との距離が非常に近いことであり、わからないことや自身の考えを明確に伝えることができることだと思います。

さらに研究室では必要な機材の作製から携わることができます。そのため、単に研究を行うだけでなく、一からどうしたらいいのか、どうやったら作業を効率化できるかなど自身で考えることの大切さを学ぶことができます。

学生間の距離も近く、また学会などに参加することで関わっていく人が増え様々な知識や経験を得ることができます。これは就職した際にも上司、先輩、多職種の方たちと仕事をする上で非常に有用なことだと思います。

Q & A

Q. 医用工学系学部以外からの入学は可能ですか？

A. 本研究科は医用工学を中心に広く工学をカバーする多様性を有した大学院です。したがって、担当教員全員が医用工学のみならず複数の専門分野を持っています。ですので、特に医用工学系の学部で学んでいなくても、工学に関する基礎的な学力が身についていれば、入学は可能です。

Q. 学費の支援制度はどうなっていますか？

A. 一般的な公的奨学金制度のほかに、本学独自のTA (Teaching Assistant) 制度があります。なお、特に学業成績が優秀であると認められた場合は特待生に採用されることもあります。

Q. どのような就職先がありますか？

A. 工学研究科で与えられる学位は修士、博士ともに工学分野のものになります（修士（工学）、博士（工学））。海外を含め社会的にもこれらの学位は認知度が高いため、就職には有利です。一般的には民間企業（メーカー、商社等）の研究開発職や技術営業職および大学の教員等が想定されますが、採用する側も皆さんの実力を厳格に評価します。ですので、大学院時代に一定の研究業績が上げられるよう努力することが必要です。

Q. 研究内容について詳しく知りたいのですが？

A. 各研究室はそれぞれ個別にホームページを持っています。通常はそこに詳しい研究内容等が記載されていますのでチェックしてみましょう。

教員紹介のHP
http://toin.ac.jp/univ/faculty/professor/

多岐に広がる就職先の例（過去6年間の実績例）

大学教員：群馬パース大学、SOLA沖縄保健医療工学院、つくば国際大学、他
一般企業：コニカミノルタテクノプロダクト㈱、富士フイルムメディカル㈱、オリンパスメディカルサイエンス販売㈱、㈱星医療酸器、㈱BMLフード・サイエンス、㈱ステムセル研究所、テルモ㈱、栄研化学㈱、メディキット㈱、㈱ウイン・インターナショナル、オーバスナイチメディカル㈱、フクダ電子東京販売㈱、大和リース㈱、ディーブイエックス㈱、東芝メディカルシステムズ㈱、他
病　　院：イムスグループ医療法人明理会相原病院、東京医科歯科大学医学部付属病院、医療法人丸山会丸子中央病院、国家公務員共済組合連合会虎ノ門病院、医療法人社団亮正会総合高津中央病院、NTT東日本関東病院、医療法人興生会相模台病院、医療法人社団東光会西東京中央総合病院、愛仁会利根川橋クリニック、越川記念よこはま腎クリニック、亀田総合病院、他

学校法人 桐蔭学園 桐蔭横浜大学
Toin University of Yokohama

お問い合わせ
［URL］ http://toin.ac.jp/UNIV
［E-mail］ nkc@toin.ac.jp
［入試・広報センター］
TEL.045-974-5423（直通） FAX.045-972-5972
［所在地］〒225-8503 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614番地